

令和 8 年 8 月 12 日

桑折町議会議長 原 賢 志 様

桑折町議会議員

11番 川 名 静 子



一 般 質 問 通 告 書

桑折町議会会議規則第61条第2項により次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1, 防災と避難所におけるジェンダーに関して	7月28日に発生したマグニチュード7.1の熊本地震では、2万棟を超える家屋が被害、6千人以上の方が避難され、亡くなられた方たちもおられる。余震が続く中猛暑にも関わらず片付けをされている様子を見るにつけ、東日本大震災を思い出す。これまで幾度となく大規模災害が発生しているが、高齢者、障がい者、妊婦、子ども等にとって避難所での課題は依然として変わっていないのはなぜか。無償ケア労働と言われる育児や介護は主に女性が担ってきたことから、女性が避難所において見逃されやすいニーズをくみ取る事ができる。故に防災にも女性の参画が必要だと言われている考えから次の点を伺う。 (1)熊本の災害を受け「もしも」ここだったら？と仮定し担当課内で災害活動シュミレーションは行ったか (2)総合計画に防災の強化、目指す姿として「全ての世代が地域防災の担い手として活躍できるまち」と書かれている。全ての世代に浸透しているか (3)「防災計画」の女性委員は何名に増えたか。国の「第5次男女共同参画基本計画」で、25年までに地方防災会議における女性委員の割合を30%以上	町長

様式4 一般質問通告（会議規則第61条、運用基準84）

2, 学校教育全般 に関して	にする目標が20年に閣議決定されたことから、体制作りに女性リーダーを増やすことは必須と考えるがどうか (4)未策定の桑折、睦合地区における「地域防災計画」の進捗状況は。また、半田、伊達崎においてはこの計画をどのような機会を捉えきめ細かな周知を図っているか。計画は作って終わりではないはず。 今年4月に行われた全国学力調査の結果が公表された。残念ながら福島県は3年連続で全教科が全国平均未満となったようです。6月定例会では問題に慣れることや、過去の問題に取り組むなどの対策はされたとの回答だったが、結果を受けてどのような総括がされたか。また、2030年度にはデジタル教科書が導入されるようである。本町はどのような選択をするのか教育長としての見解を伺う (1)教育長としてこの学力調査結果を受けての総括と対策は (2)全体的には平均までは届かずとも、各学校で昨年より伸びたところは (3)それぞれの科目に指摘された課題に対しどう取り組もうと各学校に指示したのか。特に、正答率が低かった国語は「記述」、算数・数学は「思考力」、英語は「書く」「話す」が課題と分析されているが教育長はどう分析したか (3)4年後にはデジタル教科書が正式な教科書となる。本町は「全て紙」「全てデジタル」組み合わせた「ハイブリッド」と3つの形態からどれを選ぶのか。また、その理由は何か。	教育長
---------------------------	---	------------